

横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ 情報誌

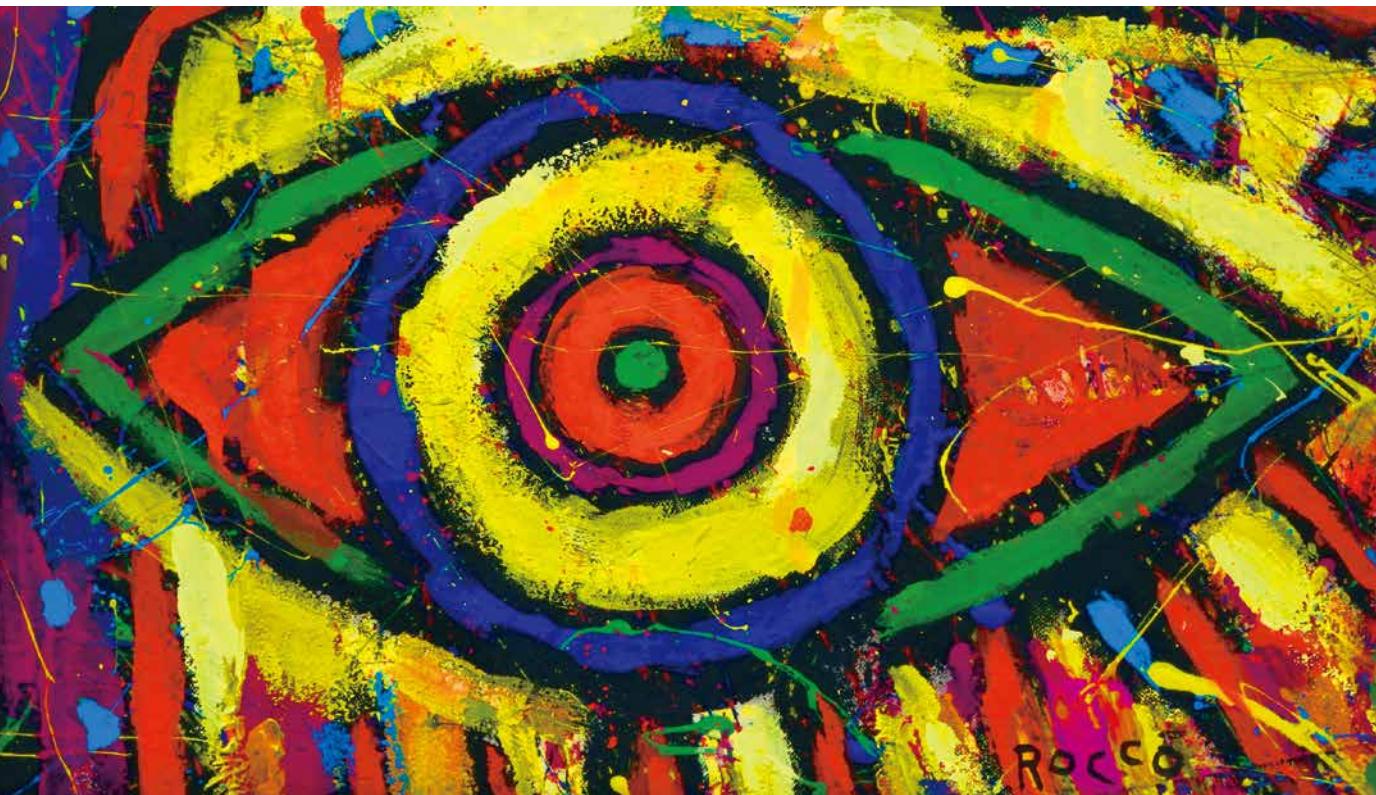
SAKURA

Since 2013



Vol.29
5・6月号

私は、「わたし」に会いにゆく。さくらプラザで、逢いましょう。



ロコ・サトシ

ウォールペイントの第一人者ロコ・サトシ 初の大規模展覧会開催！

== INDEX ==

Pick Up Artist

荒川 洋（フルート）／**荒川 知子**（リコーダー）
T.J.P.P.A.L 主宰 **十鳥 勉**
ウォールペイントアーティスト **ロコ・サトシ**

さくらプラザ 自主事業レポート

ピアノグランプリ 2018／アートバザール 2018
特待生ミーティング／2017年度のあゆみ／

連載

【新連載】庚寅長月の会 楽屋よもやま嘶
【新連載】チェコ声楽留学奮闘記
男は背中で物語る 戸塚見返親仁
出張！ 戸塚新聞



Pick
Up
Artist

名曲サロン Vol.14

あらかわひろし あらかわともこ
荒川洋&荒川知子ファミリーアンサンブル

～家族の絆と音楽～

「荒川洋&荒川知子ファミリーアンサンブル」は、障がいを乗り越え演奏活動を続ける長女の荒川知子(リコーダー)、父の荒川健秀(フルート)、母の荒川幸子(ピアノ)、兄の荒川洋(新日本フィルハーモニー交響楽団副首席フルート奏者)で構成されています。今回は荒川洋さんと、荒川知子さんのお2人に伺いました。

荒川 洋さん(フルート)



—ご家族でアンサンブルコンサートを企画されたのは、どのようなきっかけだったのでしょうか？

荒川 洋(以下、略)：

私の両親は音楽好きで、父はフルート、母はピアノを演奏し、家にはボンゴ、ギター、マラカス、ピアニカなどが転がっており、いつでも音楽に親しめる環境でした。

そんな中で育ち、自然に音楽好きとなり、音楽での将来設計を立てるようになったのです。妹もいつしかパーカッションを鳴らし始め、その延長でリコーダーでメロディーを奏でるようになり、家族でアンサンブルをするようになりました。仙台で始まり、現在では全国的に活動が広まっている、「とっておきの音楽祭」で演奏したことがきっかけで話題となり、音楽のバリアフリーの先駆けとして全国で活動するようになりました。

—ご家族でグループを結成し、1つの音楽を作り上げていくことについて、家族だからできること、家族であるがゆえに難しいところなどはありますか？

家族だからこそその絶妙な阿吽(あうん)の呼吸でタイミングをはかれる事などは、家族アンサンブルとして素晴らしいものがあります。

家族であるがゆえに難しい事というよりは、私は東京で、両親と妹は仙台を拠点に全国でも活躍しており、4人一緒の時間が少ないため、たくさんのアドバイスやケアを私自身がしてあげられないことが残念です。



事故で半身不随になりながらもジャズドラム界の第一線で活躍なさった富樫 雅彦(とがしまさひこ)さんという方がいます。彼の演奏活動を支える家族の努力は並々ならぬものだったと聞きます。不運な事故で両手足が動かなくなってしまった、詩人で画家の星野 富弘(ほしの とみひろ)さんも、家族の支えがあったからこそ、数々の素晴らしい作品が生まれています。私は、星野富弘美術館でしか見ることのできない数多くの作品を目の当たりにし、才能と周囲のサポートの重要さに関してとても考えさせられました。

—今まで一番印象に残っている公演はありますか？

2年前に仙台の東北大學川内萩ホールで行った「荒川知子とファミリーアンサンブルコンサート」です。ホールいっぱいの1000人ものお客様に聴いて頂き、溢れる感動とエネルギーを感じた。素晴らしいコンサートでした。その他にも全国で多くの演奏会を行なっていますが、聴いていただいた方に何かを感じていただけるものと思っています。

—「荒川ファミリー」として活動する中で、今後の目標や夢などお聞かせください。

両親も妹も、10年以上前から家族のライフワークとして演奏活動を行なっていました。様々な歴史がある中で、歳を重ねることは避けられません。特にダウン症の子達の衰えは、健常者の時間を遙かに超えて訪れます。しかし、私はむしろ静かな「音楽の成熟」を楽しんでいます。音楽の世界では、若手から巨匠の音楽まで、一人の音楽家に対して様々な色合いを感じながら楽しむ事ができます。荒川知子とファミリーアンサンブルで3枚のCDを発売していますが、これからも発信できる名曲、新曲となるべく早い段階で音源にし、皆様が楽しめるコンセプトでお届けしたいと考えています。

↗

—さくらプラザ公演にいらっしゃるお客様にメッセージ、又、公演の聴きどころをお願いします。

このファミリーアンサンブルが真摯に音楽と家族のあり方に取り組んできた姿を、戸塚の皆様に感じただけたらと思います。妹は「障がい」を持って生まれましたが、家族にとっては大切な宝物が天から降りてきたように感じています。

荒川 知子さん(リコーダー)



—どうしてファミリーアンサンブルをやるようになったのですか？

荒川 知子(以下、略)：

小学校6年の時、千葉から仙台に引っ越しためお別れコンサートをやりました。その時、家族4人で演奏したのがきっかけです。仙台に来てから「とっておきの音楽祭」が始まったので、参加するため練習を始めました。



—知子さんは、家族でやるアンサンブルはいかがですか？ 楽しいこと、難しいと思うことはありますか？

家族での練習はとても楽しいです。特に速い曲に挑戦するのは好きです。お父さんはリコーダーの先生なので難しいところを教えてくれます。お兄ちゃんはプロなので厳しいですが、音楽を教えてくれます。お母さんはいつもピアノで伴奏をしてくれるので、楽しく演奏できるようになりました。今も家族の中で上手になるように頑張っています。色々厳しい事を言われるので、元気になるエネルギーをつけたいです。仕事も同じです。



両親の家族アンサンブルで音楽を奏でている現在の人生は、素晴らしい時間を過ごせているように見受けられます。人は人より優れた人生を、と考えたりしますが「音楽を共有し、補い合い、家族で支え合う」事で、より豊かなものが得られる信じています。それはまさに、このファミリーアンサンブルの大切なキーワードになっています。ぜひファミリー、親子でお聴きいただき素敵な時間を共有して頂ければ幸いです。さくらプラザホールでお待ちしております。

—これまで全国で沢山演奏会をやって、特に印象に残っている演奏はありますか？

「京都第九コンサート」は、2000人のホールで家族で演奏しました。そしてオーケストラと一緒にドイツ語で第九を歌って感動しました。全国のコンサートで、障がいのお友達や沢山の人達と交流できて嬉しかったです。



—今後演奏する中で、やりたいことはどんなことですか？

もっと一人で練習してうまくなりたいです。音楽で自立したいです。



—今度の演奏会で特に聴いて欲しいと思うことがありますか？

お兄ちゃんと一緒に演奏する機会が少ないので、とても楽しみです。ぜひ聴いて下さい。

(構成:近藤 喬之)

名曲サロン Vol.14
荒川 洋 & 荒川 知子
ファミリーアンサンブルコンサート
～家族の絆とともに贈る音楽のあるひととき～
2018年6月23日(土)14:00開演(13:30開場)

*詳細は裏表紙をご覧ください。





パーカッションパフォーマンス集団 T.J.P.P.A.L主宰

十鳥 勉

～クラシカルな打楽器アンサンブルにはない、前例のないパフォーマンス！～

7月21日(土)に開催される、毎年恒例のさくらプラザ オープンデー！ 今回のホール公演は、パーカッションパフォーマンス集団T.J.P.P.A.L(ティージェイ・パル)による「ワンドードラムパフォーマンス」をお届けします。1台のマリンバを複数の演奏者で叩いたり、フォーメーションを変えながら演奏したり……目も耳も魅了されること間違いなし。今回お話を伺った主宰の十鳥 勉さんは、NHK交響楽団(N響)をはじめとする名門オーケストラを中心に打楽器客員奏者としても活躍。近年ではT.J.P.P.A.Lとして日本テレビ系「世界の果てまでイッテQ!」「24時間テレビ」に出演し、注目を浴びています。

まずは、十鳥さんが打楽器奏者になられたきっかけを教えてください。

十鳥 勉(以下、略)：

もともとバンドでドラムを叩きたかったんです。吹奏楽部を勧められ、高校から入部し打楽器を始めました。高校時代はいわゆる“文化祭荒らし”(笑)。バンドを掛け持ちして他校の文化祭にたくさん出演しました。アマチュア・ロックコンテストで最優秀ドrama賞をもらったことも！

ドラムが楽しかったのですが、少しずつクラシック音楽の奥深さに興味を引かれていきました。将来的にはオーケストラの打楽器奏者になりたい、と洗足学園音楽大学に入学。他ジャンルを聴くこともありますが、演奏はクラシック一筋でしたね。

—T.J.P.P.A.L結成までの経緯を教えてください。

大学卒業後は、様々なオーケストラで演奏しました。ただオーケストラですと大体100人がステージに乗り、そこにはいるのは私じゃなくても良い。「これだけ頑張っていても結局100人の中の1人でしかないんだ」と考えてしまったんですね。その時にふと、このステージで1人で演奏できるようになりたいなと。それからソロ演奏の勉強をしましたが、さすがに打楽器だけでは不可能なことも多いため、仲間を集め打楽器アンサンブルという形にしました。それが、T.J.P.P.A.Lというチームに繋がります。

—パーカッションパフォーマンス集団を名乗る T.J.P.P.A.L の魅力とは？

打楽器は、演奏している様子も大きな魅力です。二次元的な音楽だけではなく、三次元で観て・聴いてもらえる。それが、従来のクラシカルな打楽器アンサンブルにはない音楽とパフォーミングを併せた、私たちの現在の演奏スタイルになりました。その点がメディアで注目してもらえた理由だと思います。



—T.J.P.P.A.Lのみなさんは、1台のマリンバをみんなで弾くというパフォーマンスが特に面白いと感じました。

もともとは普通に並んで弾いていたのですが、テレビ局のプロデューサーさんに「(画面の)絵面に動きが欲しい」と言われたことがきっかけなんです。放送時間にすれば1分弱でしたが、スタジオに籠って2~3日かけて考えましたね。私はオーケストラの打楽器が本業で、各オーケストラによってはテレビ収録もありますが、実際の放送では演奏をそのまま流しますので、テレビ出演とはそういう次元でしかありませんでした。このパフォーマンスを制作する過程は、いろいろな意味で良い刺激となりました。

—初めてテレビ番組に出演されたのはいつ頃ですか？

最初は2010年6月のフジテレビ系「クイズ! ドレミファドン！」ですね。インパクトが強かつたようで、その後の出演依頼の数はすごかったです。その後も、日本テレビ系「世界の果てまでイッテQ!」「世界1のSHOWタイム」、TBS系「はなまるマーケット」等に出演させていただきましたが、やはりメディアの影響は大きいと実感しました。

打楽器奏者=クラシック奏者と思われてしまうことが多く、どうしても敷居が高く感じられてしまいます。テレビで紹介いただいた流れを通じて、我々はクラシック奏者ではないということを北海道から沖縄まで周知してもらえたと思います。



我々の表現テーマの根源には、“発想の転換をしよう”という想いがあります。メンバーはクラシック音楽を勉強してきた延長線上で演奏スタイルができ、打楽器を演奏しています。そのような演奏活動を普通に続けていたら限界があるため、発想を変えてみる、押してダメだから引いてみようという想いが、現状の活動に繋がっていることは間違いないですね。パフォーマンスの発想を変えるということで、間違なくみなさんに楽しんでいただけていると思っています。

—特に思い出深い番組はございますか？

「世界の果てまでイッテQ!」繋がりでお話をいたいたいた昨年の「24時間テレビ」ですね。ろう学校に行き、聴覚に障がいのある小学生のお子さんたちにマリンバを教えました。子どもたちは補聴器をつけているためコミュニケーションはとれるし、個人差はありますが発する音は伝わります。ただそれが、健常者と同じように伝わっているかどうかはひとりひとり違う。音楽なんて……と一步引いていた子どもたちに一步踏み出してくださいという企画でした。

私は、本来音楽はみんな平等に幸せを届けられるものだと思っています。生まれ持つて障がいを持っている方にも、楽しんでもらえる機会があつていい。音楽という存在の大きさを、自分自身改めて深く感じましたね。

準備の時間も少なく大変でしたが、音楽の仕事を続けていたご褒美が日本武道館のステージにはありました。この春彼らの小学校の卒業式にご招待いただき、感激ひとしおでしたね。

また、番組は大変な高視聴率だったそうで、単純に計算しても約1千万人が観ていることになります。我々の音楽を、大変な数の人々と同時に共有しているということが信じられませんでしたね！ 次の日からあらゆる場所で声をかけられるという日々が続いて……。前例のない音楽・パフォーマンスですが、存在を知ってもらえば、自分たちが続けてきた音楽は世の中に伝えるべきものなんだと自信が持てました。

—最後に今公演の聴きどころ・観どころ、子どもたちへのメッセージをお願いします。

演奏している自分たちも信じられないようなテクニックがあって、ふと我に返りどうしてここまでできるようになったんだろうと考えることができます。そこには「継続は力なり」というキーワードがあるんですね。一朝一夕ができるわけではなく、やはり日々の積み重ねです。継続して練習してきて今があるということを、子どもたちへもしっかりとお伝えできると思っています。発想の転換をする、見方を変えていろいろなヒントを探す、そしてそれを継続させていく。そういったことは日常のありとあらゆることに応用できるはずです。ただ楽しい・面白いだけではなく、その根底にあるものもぜひ感じていただければ嬉しいです。

そして「打楽器演奏会」のイメージがきっと覆されると思います。発想の転換に溢れており、観て・聴いていたいたいたものがみなさんの活力になると思います。聴きなじみのある曲がベースですが、ただ聴くということだけではなく、“魅入ってしまう”ものになるはずです。ぜひ頭をやわらかくしてお越しください。

(取材・構成：桑田 春花)



十鳥 勉 Tsutomu Jutori

洗足学園音楽大学打楽器科を最優秀の成績で卒業。在学中より「岡田知之打楽器合奏団」(現ミラクルパーカッション)団員となる。数多くの海外公演に参加すると共に、万国博のイベント、NHK-TV、NHK-FMなどにも出演。また、NHK交響楽団をはじめとする在京名門オーケストラを中心に打楽器客員奏者としても活躍している。



T.J.P.P.A.L(ティー・ジェイ・パル)

十鳥勉率いるパーカッションパフォーマンス集団として設立。新進気鋭のプロフェッショナルな演奏家で構成され、従来のクラシカルな打楽器アンサンブルの既成概念を覆すべく活動している。非常にシンプルな楽器で構成された多彩な音楽のレパートリーは、純粋な“打楽音”的な楽しさを表現し、新しいパフォーマンス・スタイルを確立している。また、ボディパーカッションの可能性を追求し積極的に取り入れ、他の追随を許さないオリジナリティを目指し、聴衆との一体感を得ることを最大の目的として各公演とも好評を博している。

夏休みファミリーコンサート
ワンドードラムパフォーマンス

2018年7月21日(土)

①11:00開演／②14:00開演

*詳細は裏表紙をご覧ください。





ウォールペイントアーティスト

ロコ・サトシ

～桜木町高架下の壁画制作から約40年、初の大規模展覧会！～

国内外で高い評価を得、ここ、横浜を拠点に全国的にアート活動を行うウォールペイントの第一人者ロコ・サトシさん。

彼を世に知らしめた桜木町高架下の壁画制作から約40年を記念して、さくらプラザ・ギャラリーで初の大規模展覧会を開催いたします！

会期中には、会場内でロコさんのライブペイントやワークショップを行ないますので、ぜひ遊びに来てくださいね。

GAGYOO40 ロコ・サトシ 画業40周年記念展
ROCCO'S ARTING WORLD 2018
FREE & HAPPINESS
2018年5月30日(水)～6月10日(日) 10:00～19:00 (会期中無休)
入場料 500円 (高校生以下無料／入場時 要学生証)



ワークショップ1 キッズ・ドローイング フリーアンドハピネス "Free & Happiness"

6月2日(土) ※各回同内容

①10:30～11:30 / ②14:30～15:30

水性アクリル絵の具を使い、大きな布にドローイングを行ないます。完成した作品は、7月21日(土)さくらプラザ主催ホール公演「ワンダードラムパフォーマンス」の舞台装置として使用予定です。

講師 ロコ・サトシ 他
定員 20名／参加料 500円
(画材費込・展覧会入場料別途)



ロコ・サトシ Rocco Satoshi

1970年代後半、桜木町東横線高架下で不思議なシルエットの壁画を描き始め、現在ではウォールペイントの創始者として知られています。1989年横浜博覧会で最大級のパビリオンをペイント、新本牧地区、みなとみらい21地区、横浜ポートサイド地区など、横浜のシティ・キャラクターを形成する重要な景観に作品を提供。1995年には市営バスのペイントが話題を呼んだ。民間からも多くの壁画などの依頼を受ける。1995年より彫刻の森美術館に作品を常設。

渋谷同潤会アパートのイベント、表参道の大壁画を担当。一方、1990年よりカリフォルニア州・サンディエゴ市に拠点を構え、その活動に対し、同市長より謝意宣言書が発布されている。ボブ・マレー生誕50周年記念コンサートでは平和賞受賞。その年のアートオブザイヤー・ベスト10に選ばれた。1999年に横浜市文化賞奨励賞、芸術部門賞受賞。作家活動と並行してさまざまなワークショップを行う。特に、街と学校と家庭とのつながりを深めるため、父兄、教職者、自治体などと話し合いを重ね、美術を通して子供たちの生活や学校の環境の改革に力を入れている。

■オフィシャルサイト <http://www.rocco-zoo.com/>

ROCCO'S ARTING WORLD GAGYOO40

自由になりたい！ と心の中で叫んできた。“自由”という得体の知れない物体を相手に身を捩り、ノタウチマワリ、囚われつづけた。

制作中、画面を走る筆の流れすら意識から消えた時、自分の“自由”を見つけた。“自由”は“囚われ”と背中合わせだった。

そして“囚われ”を紐解く作業も満更ではない事に気付く。奥深い間にこそ光を見出すヒントがある。

それらが自分の身体の中で歯車となって噛み合い“幸せ”を見つけてくれる。

又、知らぬ間に絵を描いている自分がいる。

“FREE & HAPPINESS”

2018年4月17日 Rocco

さくらプラザ
自主事業
レポート

ピアノグランプリ 2018

2018年
1月 20日(土) 開催

本選会場：さくらプラザ ホール

搖され!魂のピアノ!

～人生の深淵から溢れだす音楽の力～



PHOTO：若尾久志

第3回目となる『ピアノグランプリ 2018』。

横浜から世界へ、音楽の力を伝え、新たな才能と出逢う 30 歳以上限定のピアノオーディションです。全 15 団体により構成された「ピアノグランプリ 2018 実行委員会」が地域文化の活性化及び世界の音楽文化への貢献を目的として開催しました。

今回の予選参加者は 57 組と、過去最多応募となりました。実行委員会による審査の結果、17 組のピアニストたちが本選へ進みました。そして本選での厳正なる審査の結果、下記の方々が栄えある賞を受賞されました。



そまだ ななえ
柴田 早苗 さん

♪演奏曲：リスト／エステ荘の噴水

音楽家（ピアノ・チェンバロ・パイオルガン）、日本演奏連盟会員。横浜市出身。那覇市在住。川崎ミソラ、梅村芳、海老名みち、福岡敏彦、ヤン・ホラーク、ホラーク道子（エンバロ）各氏に師事。リサイタル、ピアノ協奏曲（新日本フィルハーモニー交響楽団他）、室内楽（ハース弦楽四重奏団他）、宗教音楽、東京交響楽団の鍵盤奏者として国内外各地で演奏。

【コメント】

とっても素敵なホールとピアノで私のピアノを認めていただけたこと、本当に嬉しく心より感謝しております。大変なこともありますですが、自分で強い意志を持ちながら弾きたいと思う気持ちさえあれば、多くの演奏活動をすることができます。今まで私が体験してきた経験というのが今日の演奏に活かせたのかなと思います。



むらせ かおりさん・豊江さん
／連弾

♪演奏曲：モーツアルト／
ピアノ連弾ソナタ Cdur KV521

〈村瀬かおり〉横浜市出身、在住。東京音大卒、大学院修了。多数のピアノコンクールに入賞。フランス、アメリカにおいてマスタークラス受講、ガラコンサート出演。ソロ、アンサンブル共に幅広く演奏活動の傍ら後進育成に励む。

〈村瀬豊江〉山口県下関市出身、横浜市在住。エリザベト音大卒。ピアノグランプリ 2016 においてグランプリ受賞。NHK ラジオ出演、ソロ、ジョイント等演奏活動の傍ら、ピアノ指導に情熱を注ぐ。



【コメント】

テクニックよりも音楽性を重視するとても個性的なコンクールだったので、演奏家として大事な“音楽の向き合い方”で色々と気付かされること多かったです。評価していただけたことで自信を持つことができました。ありがとうございました。

【コメント】

かおりさん：何度も意見の衝突する中で練習してきたのでホッとしています。結果に繋がり素直に嬉しいです。

豊江さん：ピアノグランプリ 2016 ではソロでグランプリを受賞しましたが、今度は娘と一緒にこの晴れ舞台に立てることがとっても嬉しいです。さくらプラザホール、大好きです。

◆審査員

大萩 康司（ギタリスト）／奥村 愛（ヴァイオリニスト）／加藤 昌則（作曲家／ピアニスト）／三浦 友理枝（ピアニスト）／山本 貴志（ピアニスト）

◆ピアノグランプリ 2018 実行委員会

青葉区民文化センターフィリアホール／旭区民文化センターサンハート／泉区民文化センターテアトルフォンテ／磯子区民文化センター杉田劇場／岩崎博物館（ゲーテ座記念）／神奈川区民文化センターかなづくホール／港南区民文化センターひまわりの郷／栄区民文化センターリリス／鶴見区民文化センターさるビアホール／戸塚区民文化センターさくらプラザ／緑区民文化センターみどりアートパーク／吉野町市民プラザ／岩間市民プラザ／株式会社馬車道ピアノサロン／（株）ヤマハミュージッククリテイリング 横浜店

速報！

ピアノグランプリ受賞者 3 組が
出演する記念演奏会を開催します！

2018年10月8日(月・祝)14:00 開演

※公演の詳細は 8 月頃公開予定です。

※日程は変更になる場合もございます。



戸塚区民文化センター さくらプラザ アートバザール 2018

2018年
2月22日~24日開催

全館を使い、市内で活動されている方を
演奏や展示で紹介しました。

3日間の来場者数は延べ1700名！ 3回目の開催となったアートバザールに、とても多くの方が足を運んでくださいました。
ご来場いただいた皆さま、出演・出展いただいた皆さま、ありがとうございました。
当日の様子を写真でご紹介いたします。

4F ホール



ナカザワキンネン野庭吹奏楽団
♪君の瞳に恋してる 他



ペンティ シエテ ビエルネス
(フルクローレ=南米の民族音楽)
♪カルバルヌメドレー



Fazz Club
(サクソフォンアンサンブル)
♪Moon Light Serenade 他



創造空間 Lula & Popo
(ライアーライブ)
♪ライアーフルートのためのカノン 他



ステイールパンデュオ
(二ノ宮千絵・小針彩菜)
♪リトルマーメイドより
「Under the Sea」 他



DuoLaLa with TeamSwans
(ピアノ・ヴァイオリン・紙芝居)
♪白鳥の湖



白川 優希(ピアノ演奏)
リスト: バラード第2番 口短調



田口 昌範(テノール)
小林 淑三(ピアノ)
♪Caro mio ben 他

4F ホール前

さくらプラザマルシェ



①café pâtisserie bar KIKUZO-
プラウニー、クッキー 他

②創作和菓子処 菓匠栗山
笹だんご、栗きんつば 他



③とつか青果
みかん、りんご 他

④サクッふわ「やさぱん」
やさぱん(ほうれん草、たまねぎ、とまと)

3F ギャラリー



大森 洋太郎

水彩画



舞岡スケッチクラブ

絵画



アートクルール

デコパージュ、ワンストローク ペインティング



大谷 和一

絵画作品



とつかアートプロジェクト
美術(水彩)、手工芸



神奈川県 きりえの会
きりえ額装、色紙、カード、
はがき仕立て



タイシルクハウス
タイの村の女性達による養蚕から
は織りに至る布作りの様子の写真



こうようさいかい
恒陽彩会スケッチ部

各教室の水彩画



こうようさいかい
恒陽彩会グループ
各教室の水彩画



しきさい
四季彩の会
透明水彩画



キルト組「空」
パッチワークキルト



ヨコハマン
YOKOHAMAN
写真、イラスト

4F 練習室

どなたでもご参加いただけるミニコンサートや体験を行ないました！



クロマチックハーモニカ
コンサート
出演: 山下伶(やましたれい)



ザリーブス
THE LEAPS ライブ
(MAYOU & NANA-A)



ギター・ウクレレ
体験コーナー
協力: ハマヤ楽器西口センター



殺陣実演&ミニワークショップ
講師: 劇団 EASTONES 座長 石田武(いしたたけし)
藤田勇紀(ふじた ゆうき)



「ボディワークス」ピラーティス体験
講師: 橋本佳子(はしもと よしこ)

すべてのイベントに参加された方はいらっしゃいましたでしょうか？
これからも楽しいイベントを企画していきますので、またさくらプラザに遊びに来てくださいね♪



さくらプラザ特待生 第6回ミーティング ～試演会～

とつか
未来創造
プロジェクト
2018年2月28日(水)
17:30～18:30開催

さくらプラザ特待生は年2回さくらプラザに集まり、音楽について語り合うミーティングや、自分の演奏を他の特待生に聴いてもらう試演会などを通して自分の音楽に向き合い成長しています。今回は3組の特待生が演奏を披露してくださいました！



やまなかりさ
中山里紗さん 16歳 (Vn.) / 中山陽絵さん 16歳 (Pf.)
♪ヴィニアフスキイ：スケルツォタランテラ
♪フォーレ：夢のあとに
中山さんの美しいヴァイオリンの音色に、中山さんのやさしいピアノの伴奏がとても初々しく、さわやかな演奏でした！



しんあやね
左：進絢瑛さん 19歳 (Pf.) / ※連弾 お母様
♪清塚信也（進千春編曲）／「For Tomorrow」
息の合った演奏で、ポップスの軽やかなリズムがとても心地よかったです。連弾は音がより華やかになります。



しまだ
鳶田そよかさん 18歳 (Pf.)
♪リスト／リゴレット・パラフレーズ
リストの難曲を格好良く演奏してくださいました。
音楽に真摯に向かう姿がとても印象的で、演奏で程よい緊張感を聴き手に与えてくれました。

さくらプラザ特待生の趣旨・内容

感受性豊かな青少年期に優れた芸術に触ることは、とても重要で貴重な体験です。しかし、コンサートのチケットは高額なものが多く、鑑賞できる機会は限られます。特にプロの演奏者・表現者を目指す若者にとって、それは個人の体験以上にやがて彼らの表現活動によって市民へと還元される「未来の社会への投資」でもあります。優れた演奏に触れる機会が少しでも多く得られるよう、さくらプラザ主催事業を無料で提供しています。

2016年11月にさくらプラザ特待生第1期生を募集いたしました。
現在は15名の方が参加しています。
2019年2月頃、第2期生の募集を予定しております。
※詳細はしばらくお待ちください。



戸塚区民文化センター
さくらプラザ
2017年度のあゆみ

2017年4月

- 15日 前橋 汀子プロデュースVol.7
ヴァイオリン 珠玉の名曲集3
- 20日 名曲サロン Vol.7
「チェロが奏でる春の訪れ」
- 29日 市原 愛ソプラノ・リサイタル
～歌の翼に～

5月

- 3日 子どものためのコンサート
口バの音楽座「森のオト」
- 12日 若林 頤ベートーヴェンピアノ・ソナタ
全32曲 第19回
- 24日・25日・26日
スタインウェイを弾いてみませんか？
- 27日 NAOTO アコースティック
デュオ・コンサート
- 31日 夢いっぱいシリーズ Vol.2
ハッピーるんるん♥親子であそぼ♪
コンサート 5月号



6月

- 11日 名曲サロン Vol.8
フェリス・フラウエンコーラ
～山手の丘から歌の花束～
- 24日 奥村 愛 & 大萩 康司 デュオコンサート
～ヴァイオリンとギターの
織りなす上質な調べ～



7月

- 2日 堤剛&萩原麻未 CDリリース記念
デュオ・リサイタル
- 13日 夢いっぱいシリーズ Vol.3
ハッピーるんるん♥親子であそぼ♪
コンサート 7月号
- 21日 若林 頤ベートーヴェンピアノ・ソナタ
全32曲 第20回
- 25日 ストローでつくる無限のかたち
- 29日 さくらプラザオープンデー2017
「真夏のこども探検隊
～ようこそもしもの国へ！～」
【同時開催】
劇団かかし座 夏休みファミリー公演
「ふしぎな時間 もしもの国で」



8月

- 16日・17日
スタインウェイを弾いてみませんか？
- 24日 名曲サロン Vol.9
マリンバで聴く夏の名曲
～TONESが奏でるエネルギーッシュな音色～

9月

- 8日 Trouvere Quartet Concert
トルヴェール・クワルテットwith小柳美奈子
- 22日 夢いっぱいシリーズ Vol.4
ハッピーるんるん♥親子であそぼ♪
コンサート 9月号
- 29日 若林 頤ベートーヴェンピアノ・ソナタ
全32曲 第21回

10月

- 9日 ピアノグランプリ2017受賞記念演奏会
～ルナーリア弦楽四重奏団とともに～
- 17日・18日・19日
スタイルを弾いてみませんか?
- 21日 前橋 汀子 プロデュース Vol.8
前橋 汀子 ピアノ・トリオ
- 25日 名曲サロンVol.10
トロンボーンカルテット 虎徹が贈る
至福のひととき
甘美なるイタリアバロック

11月

- 5日 東京六人組コンサート 室内楽の調べ
- 10日 若林 頤ベートーヴェンピアノ・ソナタ
全32曲 第22回(最終回／アンコールVol.3)
さくらプラザ クリスマスツリー点灯式2017
オルガンミニコンサート
- 12日 秋のさくらプラザ寄席 第2回
庚寅長月の会・戸塚公演
- 13日 アートマネジメント講座VII
「シンポジウム《指定管理の矛と盾》」
- 17日 夢いっぱいシリーズ Vol.5
ハッピーるんるん♥親子であそぼ♪
コンサート 11月号
しゅんさくの部屋
「紙コップ鈴でつくる連なる楽器」

12月

- 3日 名曲サロンVol.11
洗足学園音楽大学 コールファンタジア
～心あたまる午後のひととき～
- 10日 パパといっしょにアイシングクッキーで
Xmasツリーをかざろう★
- 15日 オルガンと声楽で楽しむ
クリスマスミニコンサート
- 16日 鈴木 理恵子 室内楽シリーズVol.7
ヴァイオリン、ピアノと弦楽四重奏の
コンチェルト!

こどものための芸術の学校

- ◆コンテンポラリーダンス／講師：岩渕貞太
4月24日、5月8日・29日、6月12日・26日、7月10日・24日
- ◆演劇／講師：中野 成樹
9月1日・22日、10月13日・27日、11月17日・24日

2018年1月

- 7日 新春さくらプラザ寄席「泣く落語」
～其の伍 たちきり～
- 20日 ピアノグランプリ2018 (本選)
▶レポートはP.7をご覧ください。
- 24日 夢いっぱいシリーズ Vol.6
ハッピーるんるん♥親子であそぼ♪
コンサート 1月号

2月

- 3日 名曲サロンVol.12
春を招ぶバレンタインコンサート
- 6日・7日・8日・9日
スタイルを弾いてみませんか?
- 18日 鈴木 理恵子 室内楽シリーズ Vol.8
カルテット&ピアノ五重奏 傑作選
- 21日 さくらプラザ ホール見学ツアー
～ホールの裏側を大公開!～
- 22日・23日・24日 アートバザール2018
▶レポートはP.8をご覧ください。

3月

- 2日 夢いっぱいシリーズ Vol.7
ハッピーるんるん♥親子であそぼ♪
コンサート 3月号
- 9日 若林 頤セルフプロデュース
ショパン全ピアノ作品シリーズ
「ショパンを巡る旅 2018-2020」プレ講座
- 23日 アンコール JAZZ NIGHT
ジャズと映画の世界へ
- 28日 こばんだウインズによる
アンサンブルコンサート
ばんだウンドオーケストラメンバーによる管楽器クリニック



新連載

かの元とらながつき

庚寅長月の会

よもやま噺
よもやまばなし
よもやまばなし

其の1



(左より)柳家小せん／蜃気楼龍玉／三遊亭鬼丸／林家きく麿／入船亭扇里

「自分の好きなモノ／コト」

楽器ですかね。音楽全般、聞くのも歌うのもいいのですが、楽器を演奏する方が好きかな。幼少期に、ピアノを習い、小学生時代にギターを手にして以来、ずっと傍らには楽器がありました。中学から高校、大学までずっと吹奏楽部に所属して、わりとみつかり、勉強そっちのけで、濃い部活動をしておりました。

柳家になってからも、前座時代は全く時間が取れませんでしたが、修行があけて自由が効くようになると、出身校にOBとして手伝いに行ったり、少しずつ活動。昔の仲間が立ち上げた社会人吹奏楽団に参加して、今でも団員籍を持っていたりもします。仕事のためほぼ練習に参加できず、幽霊団員なのですけれど。

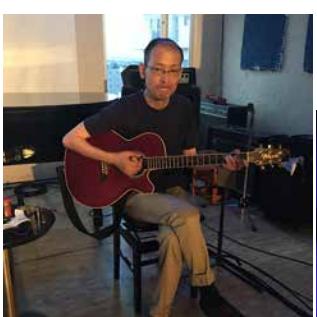
仕事に関わることで、余興でちょっとコンサートを持ち出したり、落語協会に所属する芸人でビッグバンドを組むのに入れても

『庚寅長月の会』というのは、平成22年9月に真打昇進した同期の漸家、入船亭扇里、林家きく麿、三遊亭鬼丸、蜃気楼龍玉、そして私、柳家小せん五人の落語会。昇進年月にちなんだタイトルをつけ、横浜方面でも何回か方々で公演を打ちましたが、ご縁がつて戸塚でもやらせていただくこととなり数回。今年も11月にお目通りする予定でござります。

今回、そのメンバー5人で、誌面にお邪魔することとなりました。順に登場して何か書いてくれとのご依頼ですが……どうしましょうかね。共有するテーマは何かしらあります。期といつ以外あまり共通項がなく、芸風や気性、趣味とか好みがバラバラ。でもまあ、気は合うのでしょうか。それぞれが違う過ぎるので、返つて一緒に仕事をしても、酒を呑んで話していくのも愉しいのです。(あ、酒好きというところは皆共通でした……)。

いつぞ各々の個性を前面に押し出しましようか。「自分の好きなモノ／コト」をテーマに……昔からずっと関わっていることでも、たまたま今ハマっているものでも、嗜好について語れば、人となりを知っていただけかなと。お付き合いを願っています。

ひとりに楽器と言っても、種類やジャンル、いろいろな形でやらせてもらっていますけどね、いちばん好きなのは、部屋で、独り、ギターを爪弾いて暗い歌を口づさむこと、かな。性根は陰気な人間のようです。



柳家小せん Kosen Yanagiya

戸塚出身。1997(平成9)年2月鈴々舎馬桜に入門。1997(平成9)年4月前座となる。前座名「わか馬」。2000(平成12)年6月二つ目昇進。2006(平成18)年1月鈴々舎馬風門下に移門。2010(平成22)年9月真打昇進「五代目・柳家小せん」を襲名。



新連載 チエコ声楽留学奮闘記

Vol.1

ソプラノ：松崎 夏美

ドブリーデン
Dobrý den ! チェコ共和国にて声楽を学んでおりまます、松崎 夏美と申します。

この度は皆様に、私がチエコ留学を通して体験したこと、学んだことをお話しする機会をいただきまして、大変嬉しく思っております。このコラムを通して、少しでもチエコとチエコ音楽に興味を持つていただけましたら幸いです。

初めに、松崎チエコへ留学します！と言った時、「チエコ？？どこ？チエコ？？何語？」と、ほとんどの方に訊かれました（笑）。



ざっくり言いますと、チエコはオーストリアとスロバキアの上、ドイツとポーランドの下、日本では一般的に「東欧の国」と言われますが、地図で見てみるとヨーロッパのど真ん中に位置しています。そしてチエコ語という、美しく魅力的で、面白く、かつ、とてもなく難しい言語を話しています。「チエコ語ってどんな言語？どの国の言葉に近いの？」とよくお尋ねいただくのですが、「一番近いのはスロバキア語だよ！あとポーランド語とか！」と言ってもなかなか伝わらないのが辛いところです。比較的メジャーな言語だと、ロシア語にも近いですね。

さて、チエコというと有名なのはやはり、首都プラハかと思います。が！そのプラハをさしあいて、チエコ第2の都市と呼ばれるブルノという街のお話をさせてください！

というのも、そこは私がこの留学生活をスタートさせた場所なのです。



チエコの東側モラヴィア地方の街、ブルノ。駅に降り立ちます目を引かれたのは、丘の上にそびえ立つ聖ペテロ聖パウロ大聖堂でした。その後遠方から戻って来た時など、車窓からその姿を見つけては、ああ帰ってきたなあとほっとしたのを覚えています。国内でプラハに次ぐ大きな街ですが、人口は約37万人とプラハの3分の1以下で、比べるとぐっとこじんまりしている印象です。観光地というよりはもっと生活色の濃い街で、学校も多く、学期中は学生で賑わっています。勉強するにはとても適していましたし、暮らしやすい街でもありました。また英語があまり通じないので、強制的にチエコ語を上達させるのにももってこいの街と言えます（笑）。「English?」「Ne(いいえ)」と、ばつぱり切り捨てられたこと数知れず（笑）。

街の中心には自由広場という広場があり、折々に色々なマーケットや催し物も開催されます。そこで一際異彩を放っているのが、少し端にある、黒くてつやつやした、ピストルの弾か何かが地面に突き刺さっているようにしか見えないモニュメントです。第一印象はなんじゃこりや？どれだけ眺めてみてもなんじゃこりや？なモニュメントなのですが…実はこれ、天文時計なんです。噂では、太陽の位置で時間が分かるようになっているのだとか。ただし、この時計で時間が読める人、まずいません。チエコ人の友人は「ヨーロッパ中で、時間を知るために太陽を探さないといけないのはこの広場だけだよ！！」と言っていました（笑）。次回はそんなブルノでの学生生活について、お届けいたします♪



松崎 夏美
Natsumi Matsuzaki

フェリス女学院大学音楽学部演奏学科・同大学大学院音楽研究科修士課程修了。在学中よりチエコ声楽作品に強い関心を持ち、2015年よりチエコ共和国政府奨学金を得て留学、ブルノのヤナーチェク音楽芸術アカデミーにて研鑽を積む。現在はプラハオペラスタジオに所属し、精力的に演奏活動を行なっている。これまでに東由子、土屋広次郎、宮部小牧、秦貴美子、I.ミケスコヴァー、J.マルコヴァーの各氏に師事。



其之三十 男は背中で物語る トツカミカエリオヤジ 戸塚見返親仁

商店のご主人など、戸塚区内で働いている
オヤジ世代をご紹介するコーナーです。



戸塚消防団ラッパ隊
について教えて
ください。

平成21年10月14日に4名のメンバーで活動を開始し今年で9年目。現在女性1名を含む7名で活動しています。地元の学校の先輩・後輩という繋がりから誘われて入隊しました。ほとんどのメンバーがラッパ未経験で、入隊してから金子・前隊長のもと始めました。

横浜市消防団の中にラッパ隊はありませんでした。消防団の規約である内規にも載っていないくらい…そこから地道に活動を続けていき、一昨年と昨年の横浜市消防出初式に呼ばれ演奏することができました。そうしてやっと「戸塚消防団にラッパ隊を置く」という内規ができたのです。地方はラッパ隊が盛んで、ラッパだけでなく打楽器も加わった「音楽隊」があるのですが、都心になるほど消防団ラッパ隊は少ないです。年月はかかっても「音楽



隊」の体制にし、さまざまな場所で演奏すること目標としています。

一どんな催しに出演されていますか？

消防出初式はオープニングで、「ファンファーレ」「国旗敬礼」を演奏します。広報としての活動が多いので、防災のイベントがあると呼ばれますね。

最後に、戸塚のどんなところが好きですか？

柏尾川も好きですが、やっぱり人とのつながりで盛り上がる街であることですね。今年の箱根駅伝で、選手が走っている横で「突撃ラッパ」を演奏しました。そのとき沿道で応援していた初老の方が「ちょっと吹かせてくれ！」と、吹いてくれました。一つのことをみんなで盛り上げる団結力とか、挙げたらキリがないほど戸塚の好きなところはいっぱいありますよ！

戸塚消防団
団員募集中！

戸塚消防署
戸塚区戸塚町4144番地
TEL.045-881-0119



次号の親仁は…？

出張! 戸塚新聞

webマガジン「戸塚新聞」の出張版。戸塚区のディープな情報を
鋭意取材中！詳しく述べ「戸塚新聞」で検索！

#14 食 激辛マニアもそうでない人も、トツカーナへGO!
地獄の担々麺天竜



以前、戸塚駅西口に「亞細亞樓」という中華料理店があったのを覚えていますか？駅前再開にともなって、残念ながら閉店してしまいました…

その長男は、青葉台で創作中華を、次男は平塚でラーメン店（担々麺）を、長女はアジアンカフェを、と系統は違えど、それぞれに飲食店を経営しています！

「バニアンツリー」のオーナーである柳澤さんが、すぐ近くでラーメン店をやることに。それ

がココ「地獄の担々麺天竜」。オーナーは柔らかい物腰の女性。アジアンカフェはしっくりくるけれど、激辛とか地獄とかイメージできません。

トツカーナ1階、奥のほうに位置するため、あまり目立ちませんが、今年1月末に地獄への入り口が出現！激辛担々麺に挑むツワモノを待ち受けています！かつて「亞細亞樓」では担々麺が人気メニューだったため次男がその味を受け継いで平塚でお店を始めましたが、

昨日の激辛ブームもあって、激辛担々麺にシフト。多数のTV番組で紹介されるほど話題になりました。現在は茅ヶ崎、海老名、五反田、大久保などに暖簾分け店が続々とOPEN。

激辛担々麺、体を張って取材に挑もうと、汗拭き手ぬぐい＆髪ゴムを持参して恐る恐るお店にやってきた主婦ライター。「辛さレベルはどうしょ？」と悩みつつ…

戸塚新聞 地獄の担々麺 検索

Information
「戸塚新聞」とは

戸塚区の情報満載のWebマガジン。知っているようで知らない「戸塚」の魅力的な情報を発信。戸塚新聞のすべての記事を読みたい人は「戸塚新聞」で検索！



さくらプラザコンサートスケジュール

さくらプラザ開館5周年記念

劇団俳協 ミュージカル「あらしのよるに」

5/3(木・祝) 第1回 11:00 / 第2回 14:00

※第1回のみ未就学児入場可

全席指定 一般 2,000円

子ども 1,000円 (小学生以下)

親子ペア 1,800円 (一般1枚+子ども1枚)



好評
発売中

若林 顕 セルフ・プロデュース

ショパン・全ピアノ作品シリーズ

ショパンを巡る旅 2018-2020《全15回》

5/25、7/27、9/28、11/16、2019.2/8 (金) 19:30

全席指定

各回 一般 2,500円 / 学生 1,500円

シーズンシート(5公演セット) 10,000円



好評
発売中

夏休みファミリーコンサート

ワンダードラムパフォーマンス

T.J.P.P.A.L (ティー・ジェイ・パル)

7/21(土) ①11:00 / ②14:00

全席指定 一般 1,500円

子ども 500円 (小学生以下)

※0~2歳児はひざまでの鑑賞の場合のみ無料



好評
発売中

共催 6月のBIG BAND PARTY

6/17(日) 14:00 全席自由 前売 1,500円

*さくらプラザでは窓口販売のみ取扱い

*入場料金1,500円のうち1,000円は、「復興支援音楽の会」への寄付となり、被災地の主に子どもたちの音楽環境の保全、復興等を支援する活動に充てさせていただきます。



好評
発売中

ロコ・サトシ 画業40周年記念展 ROCCO'S ARTING WORLD 2018 FREE & HAPPINESS

ウォールペイントの第一人者ロコ・サトシ。

桜木町高架下の壁画制作から約40年、
初の大規模展覧会！

5/30(水)~6/10(日)

10:00~19:00 (会期中無休)

入場料 500円

(高校生以下無料/入場時 要学生証)

会場:ギャラリー

【ワークショップ】電話予約受付中！

- キッズ・ドローイング “Free & Happiness”
- 横濱伝人(よこはまでんじん) Vol.6

*詳細はP.6をご覧ください。



好評
発売中

チケットはお電話 (045-866-2501) でご予約いただけます。(一部除外あり)
詳細はチラシをご覧ください。出演者・曲目などは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※学生券をお買い求めの際は学生証を必ずご提示ください。

一今注目すべき二人が贈る、極上のデュオ

趙 静 & 阪田 知樹 デュオコンサート

趙 静(チエロ)

阪田 知樹(ピアノ)



好評
発売中

5/9(水) 18:30

全席指定 一般 3,000円

ペアチケット 5,000円

©CHIEKO INAMAI

前橋 汀子プロデュース Vol.9

ヴァイオリン 珠玉の名曲集4

前橋 汀子(ヴァイオリン)

ヴァハーン・マルディロシアン(ピアノ)



好評
発売中

6/10(日) 14:00

全席指定 一般 3,500円

戸塚区民 3,000円

EX席 2,000円

さくらプラザ開館5周年記念

清塚 信也 ピアノリサイタル

清塚 信也(ピアノ)

スペシャルゲスト:NAOTO(ヴァイオリン)

8/31(金) 19:00

全席指定 一般 4,000円

横浜市民 3,500円

EX席 2,000円



まもなく
発売

Ticket さくらプラザ電話予約 5/19(土)14:00~
*窓口販売は翌日9:00から

共催 春風亭小朝 独演会

8/18(土) 13:30 全席指定 3,500円

Ticket さくらプラザ窓口購入 *さくらプラザでは
6/15(金)9:30~



まもなく
発売

名曲サロン シリーズ

6/23(土) Vol.14

荒川 洋 & 荒川 知子 ファミリーアンサンブルコンサート
(新日本フルートリオ)
副首席フルート奏者)



出演:荒川ファミリーアンサンブル

14:00 会場:ホール

全席指定 一般 2,500円

子ども 1,000円 (3歳~中学生以下)

親子ペア 3,000円 (一般1枚+子ども1枚)

8/9(木) Vol.15 Flute Quartet fruce ~華やかなる調和~



フルートカルテット フルーティ

Flute Quartet fruce

第1回 11:30 / 第2回 14:30

全席自由 各回 800円

会場:リハーサル室

Ticket さくらプラザ電話予約 6/14(木)14:00~

*窓口販売は翌日9:00から

好評
発売中

まもなく
発売

1・2月号のリーブスの「戸塚お稽古道場」で二人がチャレンジした書道は私も小・中学校以来、経験していないのですが、先生の指導を受けると大人になっても垢抜けるものだと思いました。書道に限らず、私はエッセイなどの執筆を趣味としていますが、集中して取り組むプロセスが大好きで、今回、リーブスがチャレンジした書道への興味に繋がり自分もチャンスがあったら是非習ってみたいと思わされました。

【ペンネーム:春野葉桜】

掲載された方には、お好きなさくらプラザ主催公演チケット*をプレゼント！

*ご要望に沿えない場合もございます。あらかじめご了承ください。

●氏名 ●掲載用ペンネーム ●ご住所 ●お電話番号 を必ず記載の上、郵送もしくはメールにてお送りください。

※ご記入いただいた個人情報は、当コーナーの目的以外には使用いたしません。※200文字程度におまとめください。

※誌面の都合上、原稿を一部修正させていただくことがあります。



戸塚区民文化センター さくらプラザ

TEL: 045-866-2501 FAX: 045-866-2502

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16-17 戸塚区総合庁舎 4F

<https://www.totsuka.hall-info.jp>

event@totsuka.hall-info.jp

編集後記 いつもと違う表紙に目を惹かれた方も多いのでは？ 自主事業としては初の試みとして、ウォールペイントの第一人者 口コ・サトシさんの画業40周年記念展を開催いたします！(桑田)



Vol.29

5・6月号

2018.5.1発行